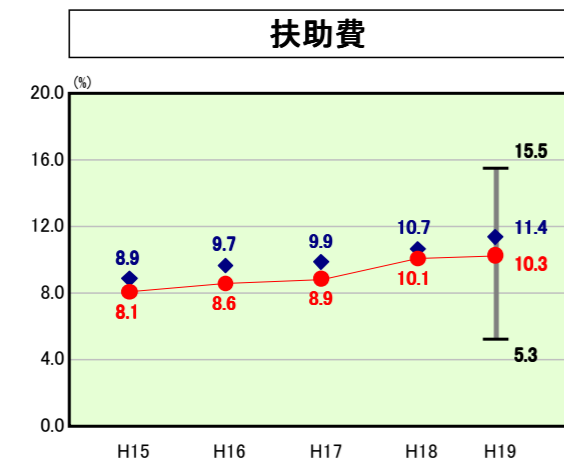
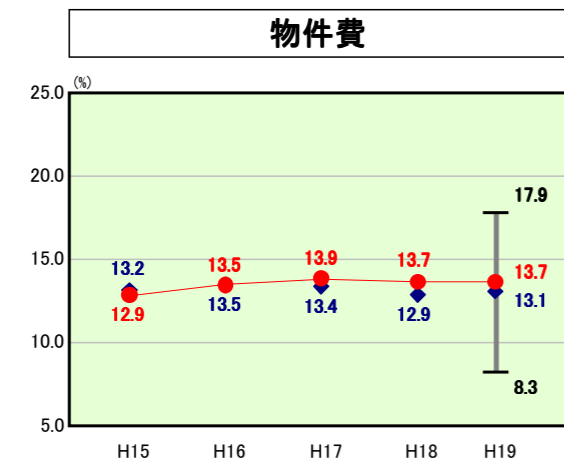
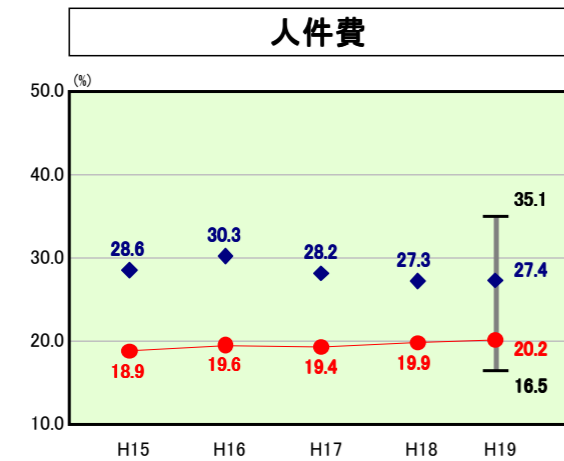
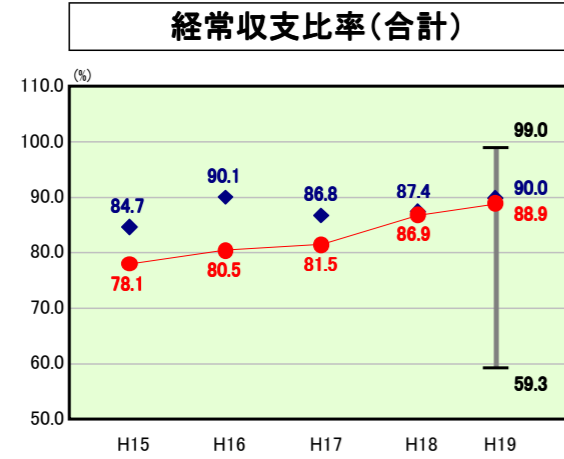


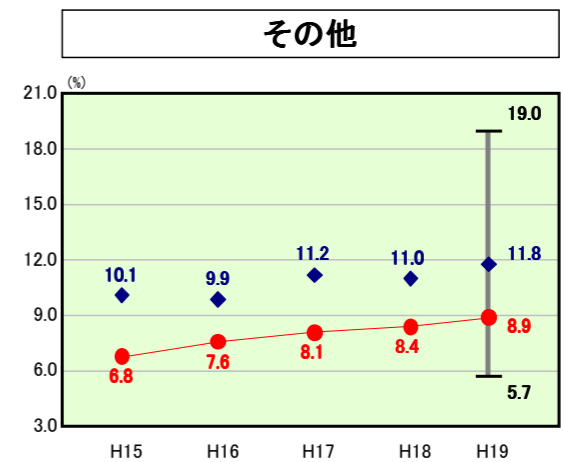
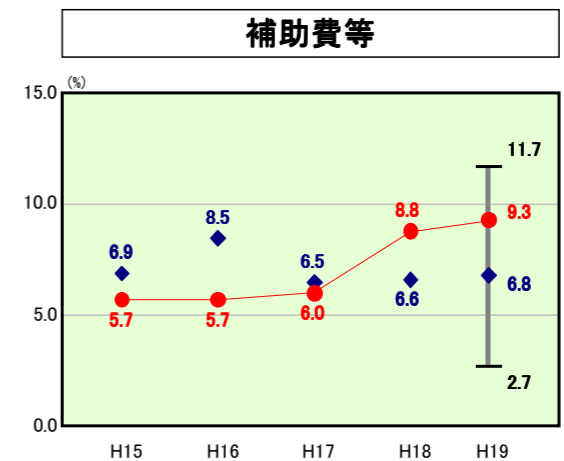
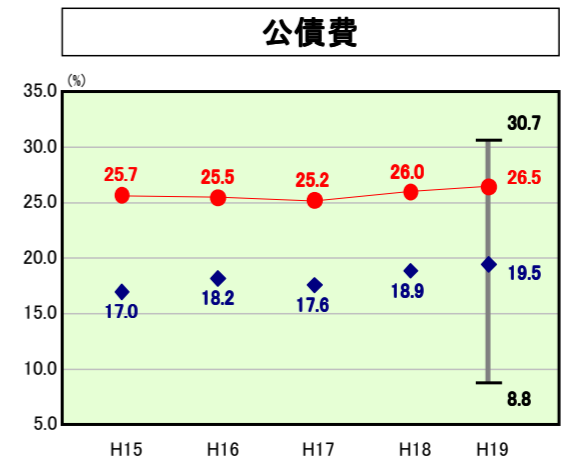
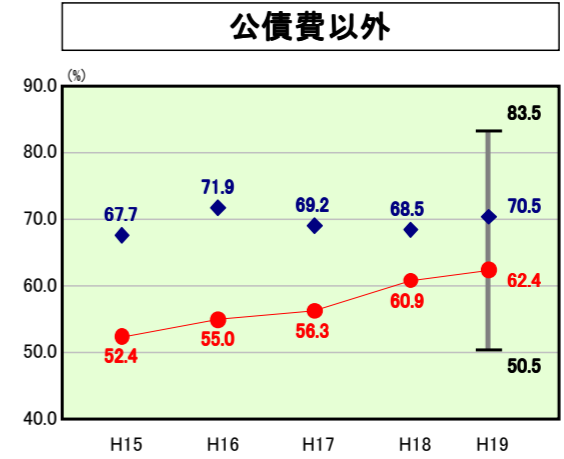
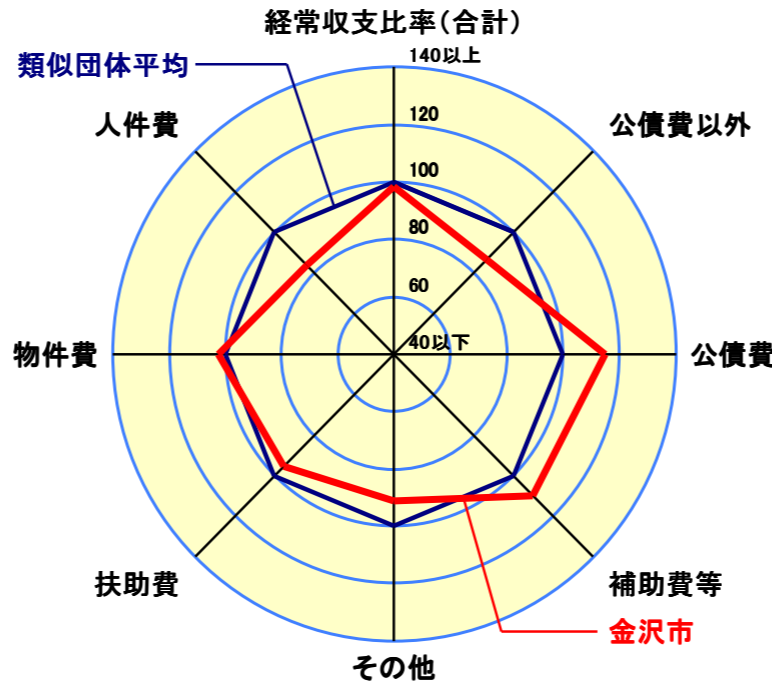
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 金沢市

経常収支比率の分析



人口	442,203 人(H20.3.31現在)
面積	467.77 km ²
歳入総額	154,645,972 千円
歳出総額	152,305,161 千円
実質収支	1,888,065 千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】職員定員適正化計画の実践により、計画どおり定員の適正化に努めてきた結果、類似団体の平均を大きく下回っている。なお、計画は平成18年度からの5年間で250人の削減を予定している。

【物件費】集中改革プランに基づき、民間委託の推進や事務事業の見直し等により、物件費(委託料)の割合が高まったことから、類似団体の平均を若干上回っている。引き続き、行財政改革を徹底し、コストの低減に努めていく。

【扶助費】中核市であることに加え、児童相談所を設置していることから、全国及び県内平均を上回っている。

【公債費】国の景気対策に積極的に呼応してきたため、類似団体平均を大きく上回っているものの、財源措置のある地方債に限定して発行しており、実際に将来負担となるのは半分程度である。なお、平成15年度より中期財政計画を策定し、繰上償還や地方債の新規発行の抑制に取り組んできており、地方債現在高は平成16年度から減少に転じている。

【補助費等】雨水ポンプ場の減価償却に伴う公共下水道事業特別会計への繰出金が増加しているものであり、引き続き、財政運営の健全化に努めていく。

【その他】高齢化の進展に伴う老人保健費特別会計繰出金の増等により上昇傾向にある。今後とも、生活習慣病予防対策の強化など医療費の適正化に努めていく。

【普通建設事業費】中期財政計画に基づき、事業の重点化や質的な充実など、公共事業費規模の適正化を図り、人口1人当たりの決算額は類似団体並みとなっている。今後とも、公共事業費規模の適正化に取り組んでいく。